（様式2） 実行計画管理シート

事業名	151	新ごみ処理施設整備事業	部・課	環境部　環境総務課

総合計画との関係	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち
	施策目標等		25　ごみを減らし、資源の循環が進むまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		
総合戦略との関係	基本目標		
	施策目標		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	○	本市における将来のごみ需要予測を踏まえ、京田辺市との広域連携による環境にやさしい新たなごみ処理施設の整備に向けた取り組みを着実に進める。
	2016(H28)年度市政運営方針	○	老朽化した穂谷川清掃工場第3プラントの後継施設として、将来を見据えた環境にやさしい可燃ごみ広域処理施設を、京田辺市との広域連携により、京田辺市甘南備園隣接地に整備するため、一部事務組合を設立し、環境影響評価を実施する。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要（目的・内容等）	穂谷川清掃工場第3プラントの老朽化に対応し、将来のごみ需要予測を踏まえた効率的・効果的なごみ処理を行うため、京田辺市との広域連携により、新たなごみ処理施設を整備する。 概算総事業費：201億円

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・平成26年12月にごみ処理施設整備基本構想を策定し、ごみの広域処理に係る可能性を具体的に検討することとした。 ・京田辺市との可燃ごみの広域処理施設を共同で建設することに平成26年12月合意した。 ・平成27年7月「枚方市・京田辺市可燃ごみの広域処理に係る連絡協議会」を設立した。 ・ごみ処理施設整備基本計画を平成28年3月に策定した。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①京田辺市との一部事務組合の設置 ②環境影響評価の実施
	実績（評価）	5月に両市で構成する一部事務組合「枚方京田辺環境施設組合」を設立し、環境影響評価の実施に向けての手続きに着手した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	②→推進 ③地質調査及び土壌汚染調査等の実施
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	②③→推進 ④施設の設計
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	⑤施設の整備
	実績（評価）	
備考		

課題	新たなごみ処理施設の整備については、一部事務組合が主体となるが、広域連携による事業であることから、一部事務組合、京田辺市及び本市の3者が連携し、事業を進めていく必要がある。		
今後の対応	平成28年7月に設立を予定している一部事務組合で京田辺市及び本市と連携しながら環境影響評価手続を進める。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
新たなごみ処理施設整備の進捗状況	○		広域連携の基本合意	可燃ごみ広域処理施設整備基本計画の策定	一部事務組合の設立、環境影響評価の手続きの着手。				建設工事着手	―
指標の説明										
(工程管理により把握) 京田辺市との広域連携による新たなごみ処理施設整備の進捗状況			広域連携による可燃ごみ広域処理施設の整備に向けて、5月に両市で構成する一部事務組合「枚方京田辺環境施設組合」を設立し、環境影響評価の実施に向けて事務手続きを進めています。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	30,219	6,266	0	0	0	9,411	14,542
2017(H29)年度							
2018(H30)年度							
2019(H31)年度							

整備事業の場合の総事業費 20,179,200 千円 （建設経費 20,179,200 千円 ， 用地費 0 千円 ）